

九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)諫早・長崎間の早期実現に関する決議

九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)(以下、西九州ルート)は、西九州地域の経済浮揚や地域発展に大きく寄与することはもちろんのこと、我が国本土の西端に至る国土軸の骨格をなし、国土の均衡ある発展と九州地区の一体的飛躍に大きく貢献する重要な交通軸となるものである。また、災害時に他の公共交通機関が被災した場合の代替手段としての役割を果たすものであり、西九州地域にとって必要不可欠な整備路線である。

西九州ルートについては、昭和48年に整備計画が決定され、以来、その実現に向けた積極的な取り組みが続けられた結果、平成20年3月、武雄温泉・諫早間の工事実施計画が認可され、実現に向けて大きく前進したが、いまだに、終着駅である長崎までの認可、着工はなされていない。

本年11月には、上海航路の就航が予定され、日本と東アジアで整備が進む高速交通網をこの航路で結ぶことにより、新たな人や物、情報の流れが生み出されようとしている。このため、本市では、観光立国の実現に資する国際ゲートウェイ機能の充実を図ることとしており、「国際観光文化都市・長崎」の再生という観点から、都市基盤整備等を集中的かつ重点的に実施しているところである。

このような中、西九州地域が、交流人口の拡大に伴う地域活性化などにより飛躍的発展を遂げるためには、武雄温泉・諫早間に続く、諫早・長崎間の整備が必要不可欠であるため、本市を初めとした沿線自治体はもとより、西九州地域の経済界が共同で要請活動を行うなど、その機運が一層高まっているところである。

本市議会は、市民並びに関係機関の一層のご理解とご支援のもと、悲願である西九州ルート諫早・長崎間の早期実現を必ずや果たすべく、全力を傾けるとともに、国に対し、その早期認可、着工を強く要望する。以上、決議する。

平成23年9月22日
長崎市議会

議員提出議案

9月定例会において議員提出議案の意見書3件を全会一致で、決議1件を賛成多数で可決しました。

意見書及び決議については、関係行政庁及び国会に提出しました。

意見書

- ▶ 地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書
- ▶ 公共交通機関の存続に向け、JR九州等に係る経営支援策等に関する意見書
- ▶ ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書

問 平成22年度の公共施設利用特別委員会の提言を受けた施設の有効活用についての庁内の検討状況や適正配置の基本的な考え方を伺いたい。

答 本市が保有するすべての建物と土地を大切な資産ととらえ、利活用の方策を見直す指針となる「長崎市公共施設マネジメント計画」を本年度中に策定する。計画策定に先立ち、現状把握と調査分析のため、公共施設白書を作成し、情報の共有化を図るとともに、市民に対し、情報の可視化を行う。次年度以降は地区別や用途別に公共施設の配置バランスなどを分析し、施設個々の客観的評価を踏まえて、更新や再配置を含めた具体的な行動計画を策定したい。

問 新たな行財政改革プランは、職員数の削減等をはじめとした人件費削減を中心に策定されている。同プランの策定プロセスの考え方や行財政改革の目的である市民サービスの向上がどのように表れるのかを伺いたい。

答 同プランは、長崎市行政改革審議会からの提言の内容を受けて策定しており、職員数の削減等の「量の改革」に加え、職員の意識改革や事務の効率化等に取り組む「質の改革」を推進していくものとしている。市民サービスの向上の具体的な事例としては、情報通信技術を活用したシステムの標準化を行うことにより事務の効率化を図り、最終的には窓口業務の一元化を目指すこと等がある。



行財政改革プラン